

2013年7月26（金）27日（土）

伊吹山（1377m）

レポート by 熊本

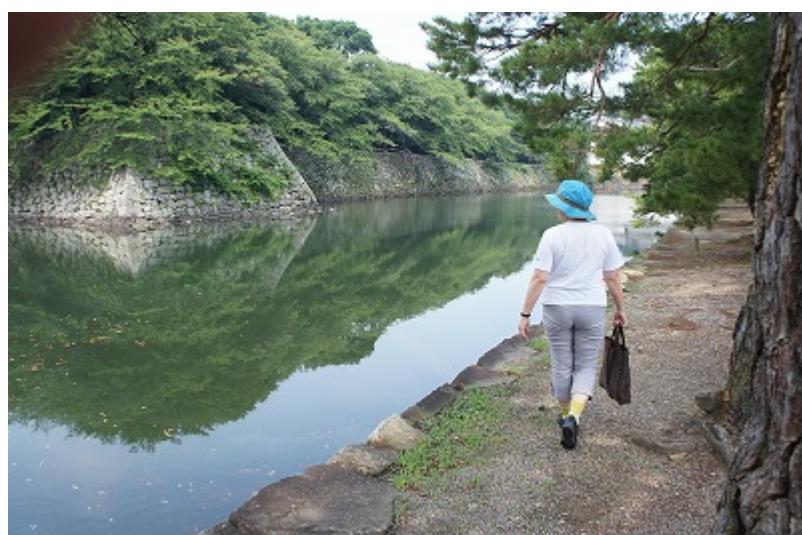
日本百名山、花の百名山の両方に名を連ねる琵琶湖近郊の「伊吹山：1377m」に山川さん、熊本の2名で、行きました。勿論、多種・多彩な高山植物を訪ねるのが目的です。山川さんは以前に観光ツアーで山頂のお花畠を見て、是非、伊吹山に登りたいと考えていて参加されました。初日 26 日は琵琶湖湖畔の国宝彦根城や長浜の黒壁スクエアなどの散策し、2日目 [27日] に琵琶湖川の登山道から伊吹山山頂を目指します。



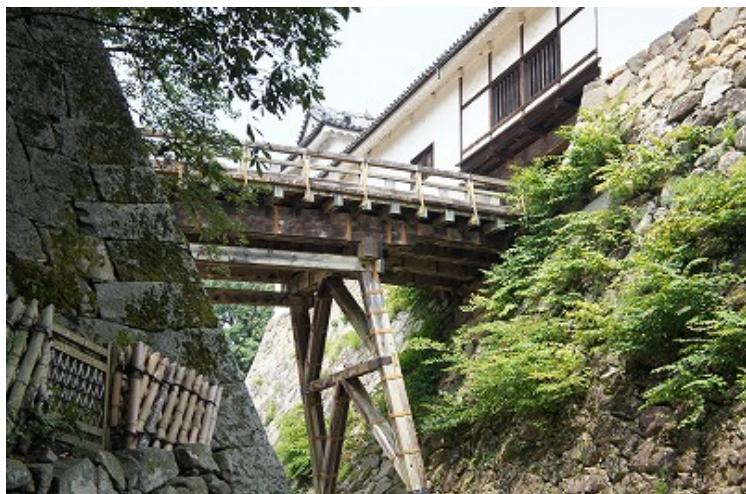
26日 東京駅 7:33 発ひかり 504号で米原駅へ、米原駅で10:00発の彦根行きの電車を待つ。



10:05 彦根駅に到着。彦根地方も日中35度になる予想で、既に暑い。
駅前の井伊直弼像の前で、記念の一枚
(10:13)



駅前の大通りを直進すると彦根城の中堀に出る (10:25)

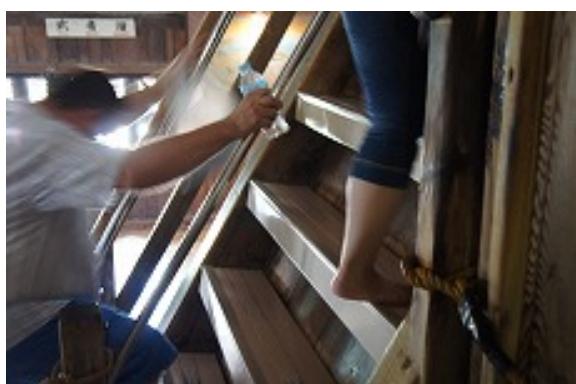


彦根城は昭和 27 年国宝に指定された、姫路城、松本城、犬山城とともに、国宝四城の一つである。

表門橋から城内に入ると急な石段で幾つかの防御門を潜っていく。



天守閣に着く頃は、背中が汗でビッショリ。天守閣の中を見学する（10:40）



75 度の斜度もありそうな急階段。



捩れた大木をそのまま使った支柱が左右に走る。



城の北東に、彦根藩下屋敷玄宮楽々園大名庭園があり、その庭園は近江八景を模して造られた縮景園である。

楽々園の書院の離れの「地震の間」があり、江戸時代 1677 年に既に耐震構造の中空に浮いた一部屋があったとは驚きである。



玄宮園の庭園からは彦根城の天守閣が見通せる。

彦根城を見学し終わって丁度、正午になった。表門を出たところに、大きな鶴亀蕎麦屋があり即入る。



先ずは、乾いた喉を生ビールで潤す。当店のお薦め「大根盛蕎麦」を注文。これが美味かった。
蕎麦は伊吹蕎麦で、伊吹山麓付近で取れるらしい。



彦根を後に米原経由で長浜に電車で行く(13:30)。

ホテル（長浜グリーン yes 駅前店）は、チュックインは 15:00～とのことで、荷物を預け、黒壁スクエア散策に出かける(13:55)

黒壁スクエアはガラス工房が沢山あり、ガラス細工製品が多い。



名物の赤こんにゃく（煉瓦色）を探す。
赤こんにゃくは三二酸化鉄で色付けされたもので、鉄分吸収の健康食品だそうだ。二人でお土産に GET し、1 時間ほど黒壁スクエアを散策してホテルに戻りチェックイン（16:00）



夕食は、「お酒とごはんの店 たゆたう」に行く。この店は熊本の長男夫妻（健・真理）の小さな居酒屋で、手作りの料理を食べさせてくれる。



昼に生ビールを飲んだので、最初から地酒（＊三連星 純米吟醸）でスタート、地鶏ササミのワサビ菜和え、や出し巻、自家製ホタルイカの一夜干し等酒に合う料理をお任せでグビグビ飲み、食べる。
最後はあさり&豆腐のチゲで、酒は獺祭（純米大吟醸 3割 9分）で締める。
初日は明日の伊吹山登山に備え軽めにし、22 時に就寝。

*三連星 <http://www.sakeno.com/meigara/1653>



27日 7:30 ホテルでピックアップしてもらい、健君の車で登山口まで送ってもらう。



7:50 に伊吹山登山口に到着する。通常はここから登るのだが山頂まで標高差約 1200m あり、4 時間かかり、高山植物をユックリ鑑賞しながら登りたいため、三合目までタクシーを依頼する（私用車は入れない）。



入り口にあった伊吹山登山案内図



15分程でタクシーが来て三合目（標高 720m）まで¥2040- (8:20)

タクシー駐車場から三合目登山道までは5分、その間も花



クサフジ



ニッコウキスゲ



ハクサンフウロ



ベニイチゴ



3合目のニッコウキスゲ群生地があり、
緑の草原が黄色に染まる。



登山準備を終え、いよいよ登山開始(8:32)



正面には山頂付近が見える。

三合目から下は雲と濃いガスで殆ど視界ゼロ。

一方、三合目から上は青空が広がり眩しい。次々と高山植物が現れる。



トモエソウ（5枚の花弁が巴紋のようにねじれている



野生のアサガオ



カワラナデシコ



ウツボグサ



アカツメクサ



イタドリ



クサフジ



ホタルブクロ



サラシナショウマ (これから白い花が咲く)



キセワタ?



六合目下にある、石室の避難小屋が見えてきた。 (9:28)



六合目に 9:42 到着。
周囲はメタカラコウの群生地





花弁は薄いピンク色で柔らかい毛に覆われている



メタカラコウ



キンバイソウ



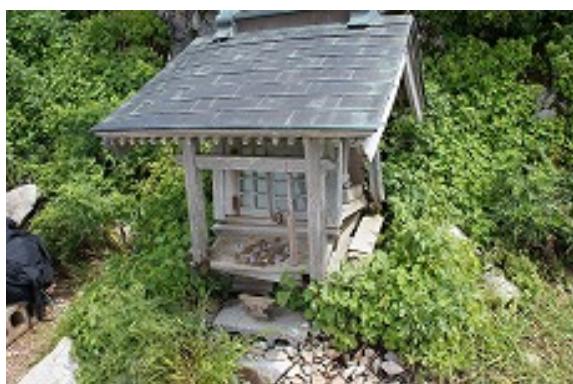
ダイコンソウ



イブキジャコウソウ



10:33 八合目に到着、登り始めてから丁度 2 時間経過



八合目に祠があった。



ザックにとまつた蝶々



ゴマナ



クガイソウ



アキノキリンソウ



コウゾリナ



キリンソウ



イブキトラノオ



グンナイフウロ



ミツモトソウ



シモツケソウ



オオバギボウシの群生



シシウド



ツルアジサイ



シモツケソウ



シユロソウ



イブキトラノオ



アカソ



アキノキリンソウ



キバナノレンリソウ



ミヤマコアザミ



イワアカバナ



キヌタソウ



いつの間にか九合目を過ぎて、前方に山頂の小屋が見えてきた。(11:00)
周辺はシモツケソウ、カワラナデシコ、イビキトラノオ、アザミ、シシウド等の高山植物が咲き乱れるお花畠になっている。



伊吹山山頂(1377m)に到着 11:10。
三合目登山開始から 2 時間 40 分。



山頂は広く、ベンチに昼食を広げ、赤ワインで登頂の乾杯 (11:21)



山頂に大和武尊の像があり、記念写真をおさめる (11:45) 約 2000 年前に伊吹山の荒神を退治に大和武尊が登った伝説がある。下山ルートは西周回コースで反対側の八合目駐車場へのルートを取る。



コオニユリ



マイズルソウ？



ギボウシ



ルリトラノオ



ウツボグサ



キバナノレンリソウ



ヤマアジサイ



クガイソウ



トモエソウ



アカツ



グンナイフウロ



シモツケソウ



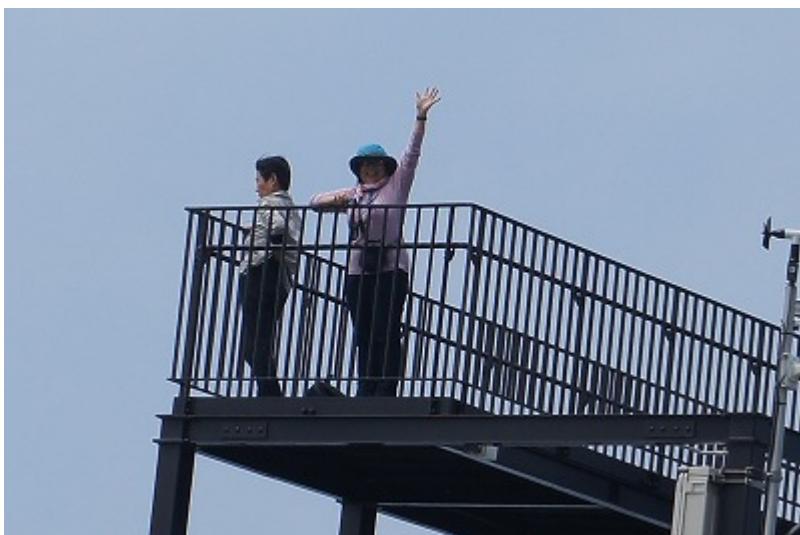
ルリトラノオ、シモツケソウの群生
クガイソウ



12:40 八合目駐車場到着
恋人の聖地だそうである。 ?



琵琶湖と反対側には関ヶ原方面からの伊吹山ドライブエイがあり、観光バスで来た観光客で山頂への登山道は数珠つなぎであった。



関ヶ原への 13:30 発のバスを待つ間に、展望台に登り手を振る。



13:30 の近鉄路線バスで、関ヶ原まで約 40 分。

14 分遅れの電車が丁度到着したところで、それに乗り米原経由で長浜に行く。予定より 30 分早く到着した。

ロッカーに預けておいた荷物を整理し、駅から徒歩 5 分の琵琶湖湖畔にある 15:02 国民宿舎「豊公荘」で温泉入浴し、二日間の汗を流す。

「長浜太閤温泉」は鉄分を含んだ黄土色不透明であった。



予定より早かったため、琵琶湖の岸部まで出て木陰で涼む。風が爽やかで気持ちよかったです。

これで二日間の予定したイベントは全て終了した。

米原発 17:55 のひかり 530 号で帰路に着きました。

1377mの低山ではありますが、日本海気候、太平洋気候との境、及び日本海から抜ける寒冷な季節風が影響して高山帯の気象状況と似ているため、多種・多彩な高山植物に恵まれ、花の百名山に名を連ねています。今回は確認できただけでも 50 種類以上の高山植物に出会え、目を楽しませてくれました。花三昧の山旅でした。